

2021 年度の自主行動計画フォローアップ集計

リデュース率は 19.1%、リサイクル率は 66.4%

当協議会は、自主行動計画 2025(第 4 次自主行動計画：2021-2025 年)の初年度である 2021 年度(令和 3 年度)のプラスチック容器包装のリデュース率およびリサイクル率を集計しました。それによると、2021 年度のリデュース率は 19.1% (累計リデュース量 119,875 トン)、リサイクル率は 66.4% (令和 3 年度リサイクル量 503,547 トン) でした。

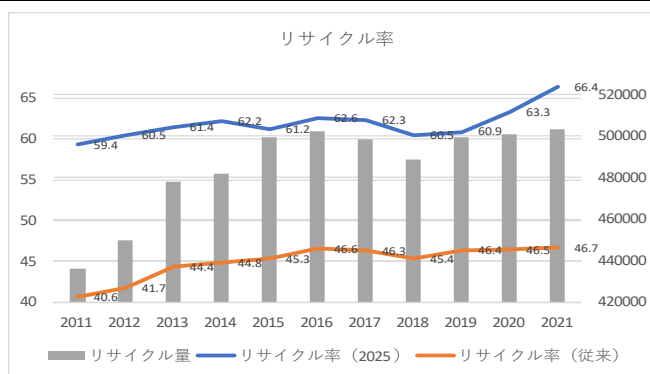
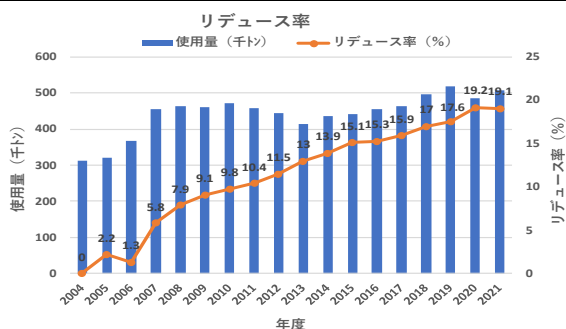
2021 年度のリデュース率は、率では前年を 0.1 ポイント低下しましたが、累計リデュース量では、前年実績を 4,898 トン上回りました。これは、集計対象が 15 団体から 16 団体に増えたためで、過去 5 年間の累計リデュース量は、着実に増加しています。

一方、リサイクル率は、2021 年度から計算方法を、2014 年に国が策定した資源循環指標ガイドラインの再商品化率に変更しました。2021 年度に実績は、変更後の初年度になりますが、目標を達成しました。新しい計算方法は、分母を市町村の回収量プラス自主回収量の合計値とし、分子を容器協会の再商品化量プラス自主回収量の合計値としました。ちなみに、従来の計算方法でも令和 3 年度のリサイクル率は、46.7%で、過去最高レベルでした。

本集計にご協力頂いた会員団体・企業の皆様に、改めてお礼申し上げます。

表 1 2025 年(令和 7 年) 度目標と 2021 年(令和 3 年) 度実績

	2025 年度目標	2021 年度実績	
リデュース率	22% (累計)	19.1%	119,875 トン(累計)
リサイクル率	60%以上 (従来の算定方式 46%・累計)	66.4% (46.7%)	503,547 トン



リデュース率 = A ÷ B

A : プラスチック容器包装累計リデュース量
(2005 年度から当該年度までの累計リデュース量)

B : プラスチック容器包装の当該年度推定使用量
(A + 当該年度のプラスチック容器包装使用量)

リサイクル率 = (C + D) ÷ (E + D)

C : 当該年度の再商品化量((公財) 日本容器包装リサイクル協会の当該年度の公表値)

D : 当該年度に特定事業者が自主的に回収・リサイクルした量

E : 当該年度市町村回収量 (リサイクル協会の当該年度の公表値)